

# 葛飾区保健医療実態調査

## 概要版

### ■ 調査の目的

平成30年度に改訂を予定する、かつしか健康実現プラン及び葛飾区食育推進計画の基礎資料として、区民意識の現状を把握するためこの調査を実施した。

### ■ 調査の内容

#### (1) 区民調査

- ①現在の健康状態      ④健康づくり      ⑦こころの健康      ⑩飲酒      ⑬通院状況
- ②健康診査の受診      ⑤食生活      ⑧地域や社会とのつながり      ⑪歯の健康
- ③かかりつけ      ⑥休養      ⑨喫煙      ⑫健康情報

#### (2) 児童・生徒調査

- ①食生活について

#### (3) 保護者調査

- ①食生活について

### ■ 調査の設計

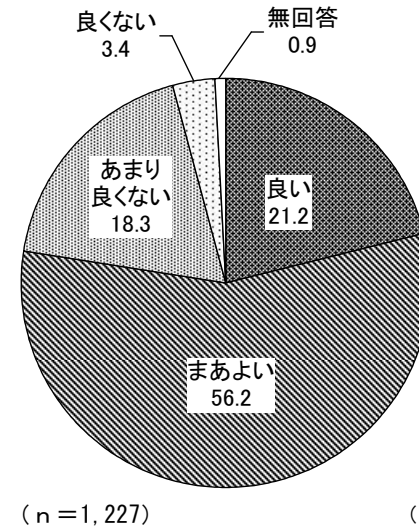
	(1) 区民調査	(2) 児童・生徒調査	(3) 保護者調査
調査時期	平成29年7月3日～7月21日	平成29年7月3日～7月14日	
調査対象	葛飾区在住の満20歳以上の男女	葛飾区立小学校・中学校に通学する小学4年生・中学1年生の児童・生徒とその保護者全員	
抽出方法・対象者数	住民基本台帳から等間隔無作為抽出法により2,400人を抽出	小学4年生とその保護者3,425人 中学1年生とその保護者2,736人	
調査方法	郵送配付・郵送回収法	区立小学校・中学校で配付・回収	児童・生徒を通じて配付・回収
有効回収数(回収率)	1,227票 (51.1%)	小学4年生3,270票(95.5%) 中学1年生2,620票(95.8%)	小学4年生3,124票(91.2%) 中学1年生2,485票(90.8%)

### ■ この概要版を見る上での注意事項

- (1) 図中のnは各設問の回答者数であり、比率算出の基数を示す。
- (2) 比率は小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、100.0%ちょうどにならないことがある。
- (3) 比率は各設問の回答者数を基数(n)として算出した。したがって、複数回答の設問ではすべての選択肢の比率を合計すると通常100%を超える。また、複数回答の設問は図中にその旨明記した。

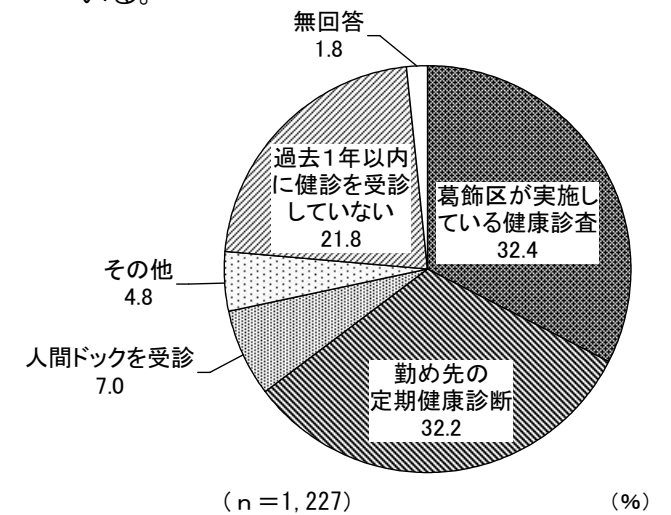
### ■ 主観的健康観 (本編P13)

「良い」(21.2%)と「まあよい」(56.2%)を合わせた『良い』が77.4%と高くなっている。



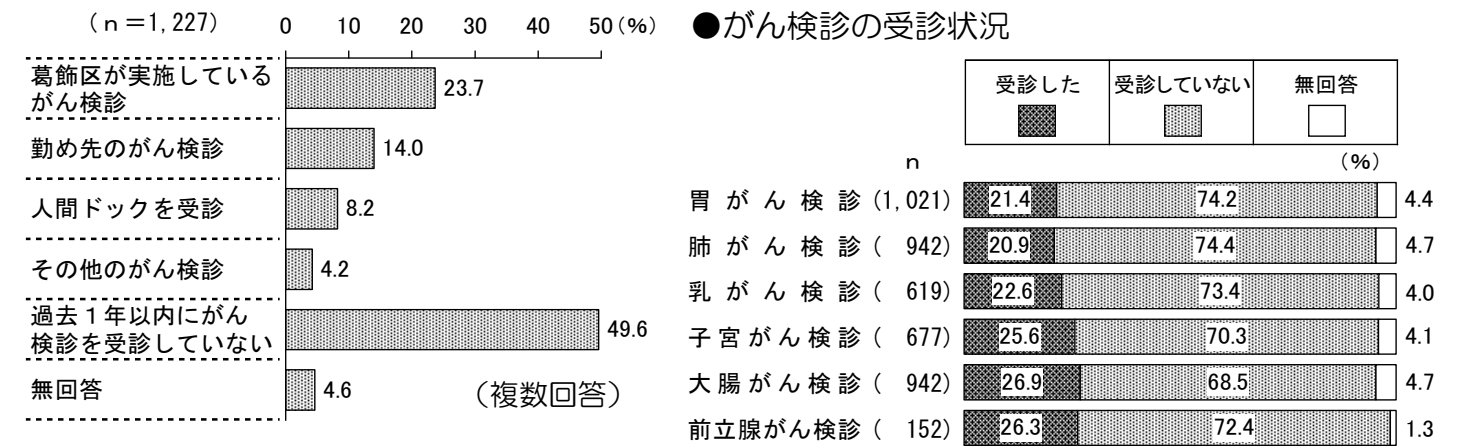
### ■ 受診した健康診査の種類 (本編P15)

「葛飾区が実施している健康診査」(32.4%)や「勤め先の定期健康診断」(32.2%)などの、健康診査を受診した人の割合は、合計で76.4%となっている。



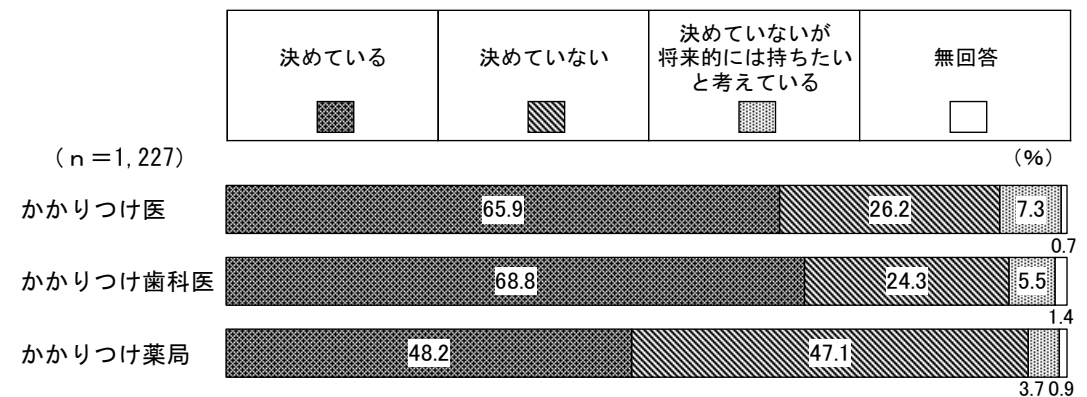
### ■ 受診したがん検診の種類 (本編P22～P24)

「葛飾区が実施しているがん検診」は23.7%、「勤め先のがん検診」は14.0%となっている。一方、「過去1年以内にかん検診を受診していない」は49.6%となっている。



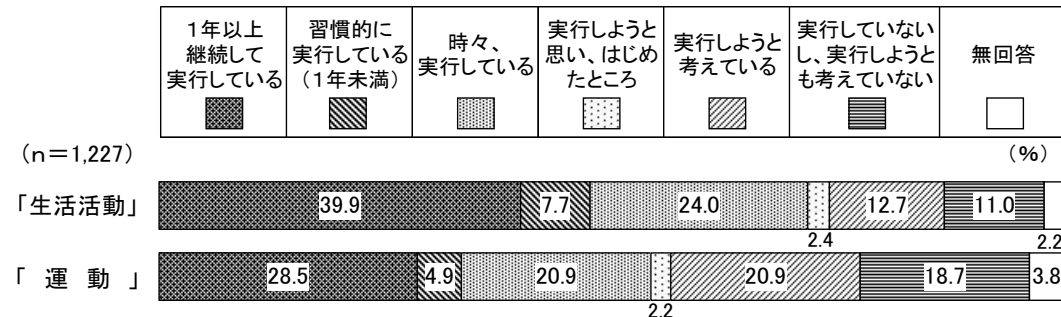
### ■ かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の状況 (本編P27～P34)

かかりつけ医を「決めている」人は65.9%、かかりつけ歯科医を「決めている」人は68.8%、かかりつけ薬局を「決めている」人は48.2%となっている。



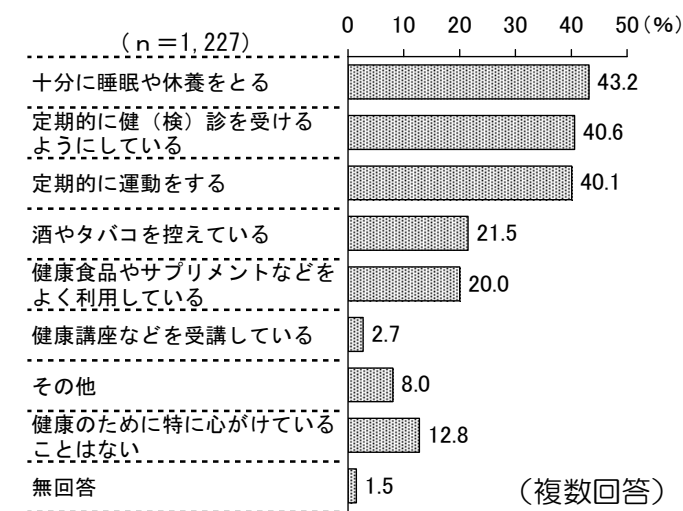
■ 「生活活動」と「運動」の頻度 (本編P39~P42)

「生活活動」(日常生活で毎日合計60分(18~64歳。65歳以上は合計40分)くらい身体を動かす)を「1年以上継続して実行している」人は39.9%、「運動」(速歩(ウォーキング)、ジョギング、テニス、水泳などの運動を1日30分以上、週2日以上実施)を「1年以上継続して実行している」人は28.5%となっている。



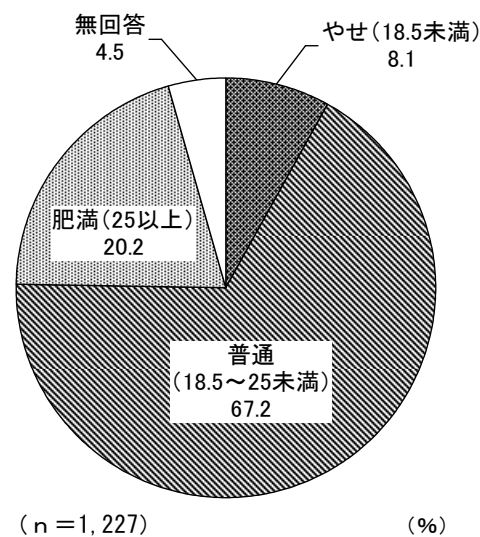
■ 健康のために心がけていること (本編P37)

「十分に睡眠や休養をとる」が43.2%で最も高く、次いで「定期的に健(検)診を受けるようにしている」(40.6%)、「定期的に運動をする」(40.1%)などの順となっている。



■ BMI (肥満指数) 区分 (本編P76)

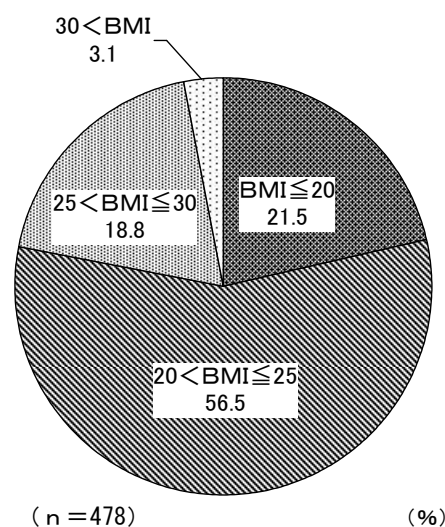
体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で求められるBMI(肥満指数)区分は、「普通」が67.2%で最も高く、「肥満」は20.2%、「やせ」は8.1%となっている。



■ 高齢者のBMI (本編P79)

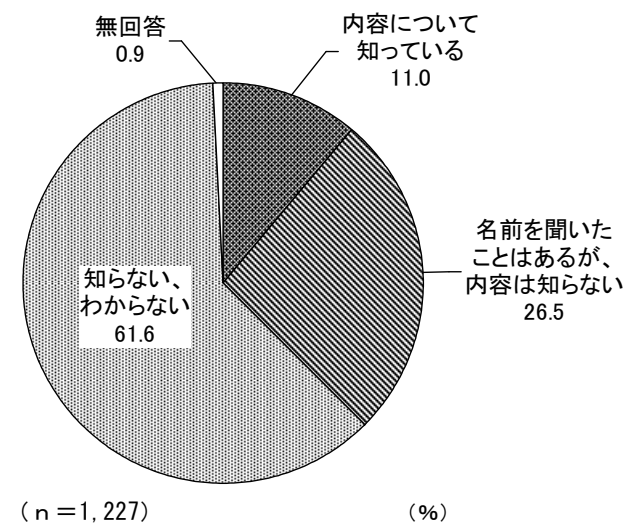
高齢期の適切な栄養は、生活の質のみならず、身体機能を維持し生活機能の自立を確保する上でも重要である。健康日本21(第2次)では、「低栄養傾向にある高齢者」の割合を減少させることを重視しており、その際の指標としてBMI20以下が有用と考えられている。

今回調査で身長と体重の回答があった65歳以上の人は478人(全体の39.0%)であり、このうち、BMI20以下の割合は21.5%となっている。



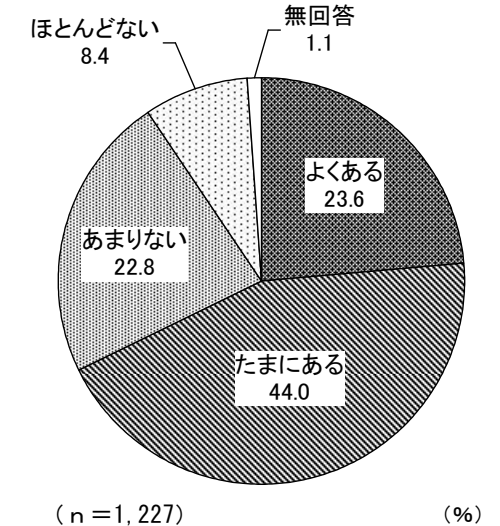
■ 「かつしかの元気食堂」の認知度 (本編P83)

「内容について知っている」が11.0%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」が26.5%となっている。



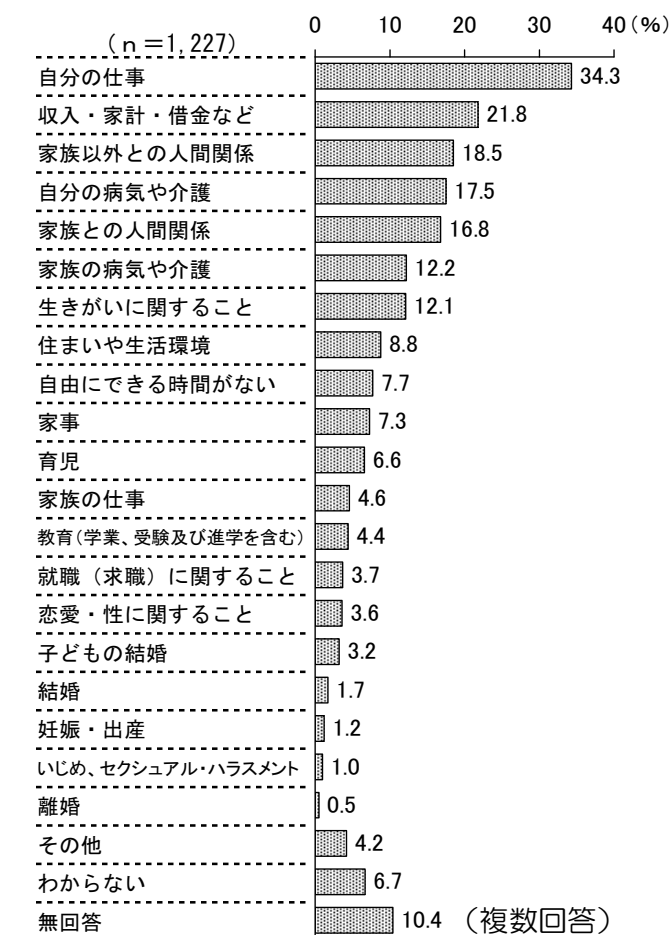
■ 悩みやストレスの有無 (本編P92)

「よくある」(23.6%)と「たまにある」(44.0%)を合わせた『ある』が67.6%と高くなっている。



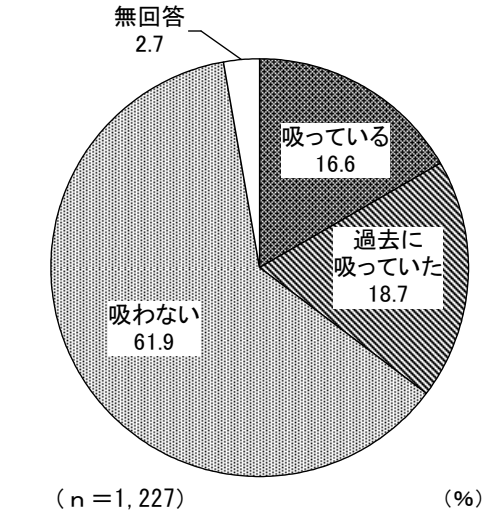
■ 悩みやストレスの原因 (本編P94)

「自分の仕事」が34.3%で最も高く、次いで「収入・家計・借金など」(21.8%)、「家族以外との人間関係」(18.5%)、「自分の病気や介護」(17.5%)、「家族との人間関係」(16.8%)などの順となっている。



■ 喫煙状況 (本編P111)

「吸っている」が16.6%となっている。



■ 飲酒状況 (本編P123)

「ほぼ毎日のように飲む」が21.8%となっている。

